

日本を「戦死者を出す国へ」変えた安倍晋三とその支持者に問う

「主よ、あなたは偽って語る者を滅ぼし、流血の罪を犯す者、欺く者をいとわれます。」

(旧約聖書：詩編第4編7節)

すでに日本は、朝鮮戦争時の秘密裡の後方支援で一人の戦死者を出し、PKO活動後の自衛隊員にも多くの自殺者を出している。NGO活動者からも、安保法制はかえって非軍事的国際支援を戦争に巻き込むとの懸念が表明されてきた。その事実を無視して安保関連法案を強行可決させたのは、戦争犠牲者を出してもかまわないという不道徳な態度である。

「あなたたちは不幸だ。自分の先祖が殺した預言者たちの墓を建てているからだ。こうして、あなたたちは先祖の仕業の証人となり、それに賛成している。先祖は殺し、あなたたちは墓を建てているからである。」(ルカによる福音書第11章47,48節)

もし戦死者が出て靖国神社や護国神社にまつて「お国のための荣誉の死」「英霊」とあがめれば済むとでも思っているのなら、無責任きわまりないずる賢い魂胆である。今後、確実に戦死者が出るであろう。その責任をどう取るつもりなのか。攻撃した相手に責任のすべてをなすりつけて、国家への忠誠心を煽り、士気を高めようとでもするつもりなのか。

「未熟な者は何事も信じこむ。熟慮ある人は行く道を見分けようとする。」(箴言14:15)

ほとんどすべての憲法学者が違憲と明確に判断したのを無視したのは、あなたがたがこれらの学者よりも頭が良くて賢いとでも思っているのか。傲慢というほかはない。要するに安保法制は、自分たちの国家主義的な政治的信念を強引に自己実現しただけの愚かな決定にすぎず、何らの公的正当性を持ちえないことが今後明らかにされ、あなたがたは大恥をかくことになる。

国内の、ヘイト・スピーチなどの人権侵害は放置し、深刻な原発・自然災害への対応はおろそかにしながら、「国民の生命と財産を守るため」という口実は、偽善もはなはだしいというべきである。また、武器の製造と輸出によって儲けようとする経済界の不健全な要請に応じて、あたかも景気が回復するかのような麻薬的幻想をふりまいて住民をだますのも、歴史の審判には耐えられない策略にすぎない。

もう一度言うが、安倍晋三首相とその支持者たちには、これからの戦死者の血の責任が問われることを承知しておくべきである。

「何ということをしたのか。お前の弟の血が土の中からわたしに向かって叫んでいる。」

(創世記第4章10節)

2015年9月25日

日本キリスト教会北海道中会ヤスクニ・社会問題委員会

委員長 古賀 清敬

(連絡先：札幌市中央区北1西13、札幌北一条教会気付 TEL011-211-4454)